

**指定管理者制度導入施設の管理運営状況等に関する評価表**  
(評価対象年度:令和5年度)

**<施設概要>**

<b>施設</b>	総合体育館
<b>施設の設置目的</b>	市民の体育、スポーツ及びレクリエーションの普及振興を図り、健康で文化的な生活の向上に寄与する
<b>指定期間</b>	平成31年(2019年)4月1日～令和11年(2029年)3月31日
<b>指定管理者</b>	公益社団法人調布市スポーツ協会
<b>所管部署</b>	生活文化スポーツ部 スポーツ振興課

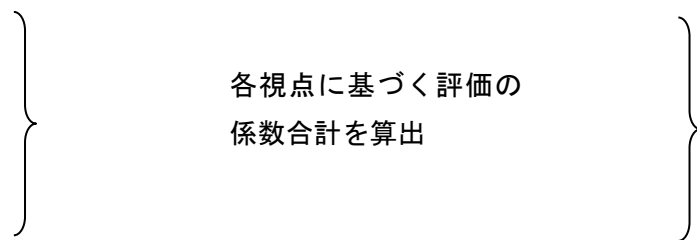
**<施設所管部署における全体総括>**

<p>令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置付けが5類に移行されたことにより、加盟団体による競技会や各種プログラムなどが人数制限等の感染対策を行わずに開催され、多くの市民がスポーツに親しめる機会の創出を図った。施設管理面でも、マスクの着用が個人の判断に委ねられ、更衣室の人数制限、入場時の検温、施設備品等の拭取り消毒等は全て廃止され、休止中のプールを除いた体育室、トレーニング室、会議室では令和4年度を上回る利用人数となった。</p> <p>また、いつでも、だれでも、同じ場所でスポーツを楽しむ環境を創出することを目指し、「調布市障害者スポーツの振興における協議体」への参画はもとより、(公社)東京都障害者スポーツ協会の「障害者のスポーツ施設利用促進アドバイザー」事業を活用した取組を推進し、スポーツを通じた共生社会の充実に向けた取組を積極的に実施出来ている。</p> <p>防犯・防災面においても、定期的に訓練を実施し、職員の意識を高めているほか、令和3年度に市と締結した「災害時における調布市の対応への協力に関する基本協定書」に基づき、災害時のボランティアセンター等設置に関わる準備を進めるなど、利用者だけでなく市民の安全・安心に向けた取組ができています。</p> <p>このような管理運営の結果として、施設利用者からは利用者満足度で非常に高い評価をいただくなど、市民ニーズに添った事業の実施及び施設の管理運営を行うことができていると考えられる。</p>	
<b>総合評価</b>	
<b>A</b>	

**総合評価基準**

以下、施設の管理運営等に関する各視点に基づく評価に対応した係数の合計で総合評価を決定する。

<b>&lt;係数&gt;</b>
s→10
a→8
b→6
c→4
d→2



<b>&lt;総合評価基準&gt;</b>
S(特に優れている)
→42 ~ 44(かつ各視点でc評価が無い)
A(優れている)
→36 ~ 41(かつ各視点でd評価が無い)
B(良好)
→26 ~ 35
C(要改善)
→16 ~ 27
D(要抜本的見直し)
→10 ~ 15

<施設の過去3箇年の主な管理実績>

項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数	9万9887人	12万2771人	10万685人
事業参加者数	2万5483人	3万6675人	3万7841人
貸出施設稼働率	85.03%	82.29%	66.17%
指定管理料(市決算額)	1億5905万5360円	1億3553万7063円	1億2937万1235円
利用料金収入	2241万3720円	2855万8730円	2190万3610円

<施設の管理運営等に関する評価(各評価区分の考え方は下段の「評価の目安」を参照)>

	確認項目	確認欄	
業務の実施体制	業務マニュアルの整備(職員への周知含む)	<input checked="" type="checkbox"/> 有(更新) <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
	緊急時におけるマニュアル・連絡体制の整備(職員への周知含む)	<input checked="" type="checkbox"/> 有(更新) <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
	職員の育成(研修・緊急時対応等の訓練)の実施	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 未実施	
	<評価におけるその他の視点> ・個人情報の保護及び情報漏洩防止のための措置 ・職員の勤務条件・待遇における関係法令の遵守 ・協定書等を遵守した業務の再委託 など ・適切な人員配置 ・適時適切な市との情報共有		
	施設所管部署の総括 (上段の確認項目や評価の視点を含めた総括)		評価(b~d)
	市との定期的なモニタリングの実施のほか、日常的に連携を密にとっており、適宜必要な情報共有や緊急時における連絡体制もしっかりと図られている。 個人情報については、個人情報保護に関する法律の改正に対応し、新たに整備した規程等に沿って適切に個人情報の保護に努めたほか、個人情報取扱従事者資格更新講座を受講し、個人情報の保護及び情報漏洩防止のため必要な知識の習得と、他の職員・スタッフへの周知の徹底が図られている。 また、防災面でも訓練の実施や施設管理に必要な研修の受講等、施設の安全・安心な運営のため、職員の育成も図られているほか、令和3年度に市と締結した「災害時における調布市の対応への協力に関する基本協定書」に基づき、災害時におけるボランティアセンター等の設置に関わる準備を進めることができた。		b

評価の目安(b~d)

- b: マニュアル整備や研修等が適切に実施されており、その他、協定内容や関係法令等が遵守されている。  
 c: マニュアル整備や研修等の実施、協定内容や関係法令等の遵守について一部改善を要する点がある。  
 d: 業務の実施体制について、抜本的に改善が必要なものがある。

施設の維持管理	確認項目	確認欄
	施設・設備についての保守点検の実施	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 未実施
	施設・設備に不具合等があった場合の修繕等の実施	<input checked="" type="checkbox"/> 不具合等有(1件(うち対応1件)) <input type="checkbox"/> 無
	備品の適切な管理(台帳との照合)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 未実施
	<評価におけるその他の視点> ・利用者の安全確保対策 ・適切な衛生管理(清掃対応, 感染症対策など) ・指定管理者として必要な保険への加入 など	
	<b>施設所管部署の総括 (上段の確認項目や評価の視点を含めた総括)</b>	評価(a~d)
施設・設備の不具合等については、市への報告及び迅速な対応ができており、令和5年度は保守点検時の不具合件数1件に加え、突発的な修繕は27件実施した。なお、屋内プールについては、トップライトを含む天井鉄骨部材の錆腐食等による著しい劣化により、トップライトの更新、鉄骨部の塗装・補修が必要となり、令和4年12月から長期休止となっている。(令和5年度中は休止) 本事案においても、事象の発生について迅速かつ的確に市へ報告を行い、その後の対応についても市と連携して適切に実施した。 新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類に移行されたことにより、マスクの着用は個人の判断に委ねられ、更衣室等の人数制限、入場時の検温、施設備品等の拭取り消毒等は廃止した。衛生管理については、職員及び従事スタッフはこまめな消毒、清掃を徹底している。また、大体育室の空調設備を有効活用しながら、利用者の状況を的確に判断して温度調整を行い、熱中症対策にも細やかな配慮をしている。さらには、利用者に怪我人等が発生した場合にも迅速な応急措置を行うなど、利用者の安全管理の徹底が図られている。 利用者の安全確保に向けては、指定管理者として、施設賠償責任保険と行事賠償責任保険といった必要な保険に加入している。	b	

**評価の目安(a~d)**

- a: 施設・設備の点検や修繕等への適切な対応に加え、先進的な対策の導入など、優れた安全対策や維持保全などが行われている。
- b: 施設・設備の点検や修繕や備品管理、安全対策などをはじめ、施設の維持・管理が適切に実施されている。
- c: 施設・設備の点検や修繕等の施設の維持・管理について一部改善を要する点がある。
- d: 施設の維持・管理について、抜本的に改善が必要なものがある。

サービスの提供	確認項目	確認欄
	計画した事業(サービス)の実施	☑計画どおり ☐一部未実施 ☐多くが未実施
	利用者数の状況(前年度比較)	☐前年比5%超増 ☐同水準(±5%) ☑前年比5%超減
	貸出施設稼働率の状況(前年度比較)	☐前年比5%超増 ☐同水準(±5%) ☑前年比5%超減
	新たなサービス(事業)の実施	☑有(8件) ☐無 主な実施内容: 健康増進プログラム6事業(ピラティススクール, シェイプアップバランスボールほか), ジュニアスポーツプログラム1事業(親子ビクス), 障害者プログラム1事業(障害者スポーツ事業 スポーツをやってみよう!)
	サービスの見直し(利用方法・事業回数・時間帯等)の実施	☑有(1件) ☐無 主な実施内容: プール及びトレーニング室の利用における1時間15分枠を新設(令和5年10月1日から運用開始)
	職員の接遇態度(言葉遣い, 態度, 服装, 問合せへの対応等)	☑優れている ☐普通 ☐要改善
	<p>&lt;評価におけるその他の視点&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者にとって分かりやすい施設利用案内や事業等に関する情報提供</li> <li>・協定書等に基づく施設の開館日, 開館時間の遵守</li> <li>・利用者に対する附帯設備・備品等の適切な提供</li> <li>・迅速な対応及び市への報告</li> <li>・利用促進に関する取組</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の設置目的に沿ったサービスの提供及び事業の実施</li> <li>・利用申請等に対する迅速な対応</li> <li>・苦情や要望等に対する適切</li> <li>・施設の利便性向上</li> <li>・利用者満足度アンケート調査等の結果 など</li> </ul>
	施設所管部署の総括(上段の確認項目や評価の視点を含めた総括)	評価(s~d)
	<p>スポーツ協会セブンプログラムを核に施設を効果的に利用し, 健康づくりを目的とした健康増進プログラムを数多く実施したほか, 小学生向けのジュニアスポーツプログラムや成人向けのスキルアッププログラム, 障害者プログラムなど, ライフステージ等に応じた様々は取組を実施することで, 市民に継続した運動機会を提供し, 市民の健康維持・増進に努めている。また, (公社)東京都障害者スポーツ協会の「障害者のスポーツ施設利用促進アドバイザー」事業を活用した, 障害当事者による施設検証として, 車いす利用者, 視覚障害者に実際に利用していただき, 施設内の備品や導線などを確認いただいたほか, 施設職員向けに実技研修も併せて実施し, 誰もが使いやすい施設を目指した取組が実施されている。</p> <p>また, 大体育室の空調設備を有効活用し, 利用者の利用環境に応じて適切な室温管理を実施する等, 利用環境の向上に努めている。その結果, 利用者満足度については「非常に満足」が50%, 「満足」が48%, 合計で98%と高い評価を得られたことから, 利用者への適切なサービス提供がなされていることが分かる。</p> <p>また, 利用者ニーズを捉えるために「ふれあい連絡カード」による意見収集を随時行い, 利用者の意見や要望を的確に把握するとともに, 対応内容や質問への回答を専用掲示板に掲示する等, 丁寧に対応しながら, 施設の改善に役立っている。</p>	

**評価の目安(s~d)**

- s: サービスの提供(施設利用, 事業実施など)について, 特に優れた実績がある。
- a: サービスの提供(施設利用, 事業実施など)が適切に実施され, かつ, 前年度実績を上回る実績が複数あるなど, 優れた実績がある。
- b: サービスの提供について協定書等の内容に基づき, 概ね適切に実施できている。
- c: サービスの提供について協定書等の内容に基づく対応が実施されていないものが散見され, 一部改善を要する点がある。
- d: サービスの提供について, 抜本的に改善が必要なものがある。

財務の状況	確認項目		確認欄
	収支計画を踏まえた実績	利用料金収入	<input type="checkbox"/> 計画比+5%超増 <input type="checkbox"/> 同水準(±5%) <input checked="" type="checkbox"/> 計画比-5%超減
		支出総額	<input type="checkbox"/> 計画比+5%超 <input type="checkbox"/> 同水準(±5%) <input checked="" type="checkbox"/> 計画比-5%超減
	収入(指定管理料を除く)の状況(前年度比較)		<input type="checkbox"/> 前年比5%以上増 <input type="checkbox"/> 同水準(±5%) <input checked="" type="checkbox"/> 前年比5%以上減
	収入確保や経費縮減の取組		<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 主な取組内容: 屋内プールが通年で休止だったことから、計画通りの確保とはならなかったが、体育室、トレーニング室、会議室の利用人数は増加傾向となった。また、利用者がいないエリアのこまめな節電、消耗部材等の簡易的な修繕等を職員及び従事スタッフで対応するなど、経費縮減に努めた。
	<p>&lt;評価におけるその他の視点&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理料の適切な管理(帳簿等の整備)</li> <li>・利用料金等に関する適切な収納及び還付事務の実施 など</li> </ul>		
施設所管部署の総括(上段の確認項目や評価の視点を含めた総括)		評価(s~d)	
<p>取引が発生する都度、速やかに会計処理を行い、毎月の収支状況も詳細に把握する等、適切な会計事務を実施しており、月1回のモニタリングの際にも報告を受けている。</p> <p>利用料金は、都度集計、即時に金融機関へ納入することで、事務所に多額の現金が長時間留まらないようにしている。さらには、現金保管及び金融機関までの現金輸送時の万が一の不測の事態に備えた現金動産保険に加入している。</p> <p>令和5年10月から利用者ニーズに応え、新たに1時間15分料金を新設した。令和5年度は該当するトレーニング室において、多くの利用者が当該枠を利用しているが、当該施策による利用料金収入への影響を踏まえ、引き続き経費縮減に努めていく。</p>		a	

**評価の目安(s~d)**

- s: 収支計画等に基づく適切な運営等の実施に加え、収入増加や経費縮減に関して、特に優れた対応・実績が見られる。
- a: 収支計画等に基づく適切な運営等の実施に加え、収入増加や経費縮減に関して、優れた対応・実績が見られる。
- b: 収支計画等に基づく適切な運営が概ね実施できている。
- c: 収支計画等に基づく適切な運営や、その他財務に関連する取組に一部改善を要するものがある。
- d: 収支計画等に基づく適切な運営や、その他財務に関連する取組に関して抜本的に改善が必要なものがある。

その他	確認項目	確認欄
	地域等との連携による取組の実施	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 未実施 主な実施内容： 調布市障害者スポーツの振興における協議体に参加し、福祉関係団体との連携の中で協議体事業を体育館で実施する等、取組を進めている。また、調布市×FC東京まちづくり実行委員会にも参画し、青赤ストリートへ連携した取り組み、官民連携したスポーツ振興と地域活性化に貢献した。
	地域貢献活動の実施	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 未実施 主な実施内容： ・地域への目的外の施設開放 ・中学生職場体験の受け入れ(市立中学校生徒7人) ・休館日を中心とした施設周辺道路等の定期清掃 ・施設周辺道路等の桜、落ち葉等を随時清掃
	<その他評価の視点> ・省エネルギー、省資源等の取組による環境への配慮 ・市民雇用の取組 ・地域経済の発展に資する取組 など	
	施設所管部署の総括（上段の確認項目や評価の視点を含めた総括）	評価(s～d)
地域におけるスポーツ振興、コミュニティの拠点となることを目的とした地域への目的外の施設開放や、中学生職場体験の受入れを実施した。また、体育館周辺での清掃活動等については随時実施し、地域との連携を図っている。 また、「調布市障害者スポーツの振興における協議体」に参加し、市内の福祉関係団体と連携を図り、体育館での協議体事業を積極的に実施するなど、障害者スポーツの振興に前向きに取り組んでいる。さらには、「調布市×FC東京まちづくり実行委員会」にも参画し、青赤ストリートへ連携して取り組み、官民連携したスポーツ振興と地域活性化に貢献している。	a	

**評価の目安(s～d)**

s: 4つの視点に関する取組以外に、地域等との連携による事業や地域貢献活動への積極的な参加などにおいて、特に優れた対応が見られる。

a: 4つの視点に関する取組以外に、地域等との連携による事業や地域貢献活動への積極的な参加などにおいて、優れた対応が見られる。

b: 地域等との連携による事業や地域貢献活動への参加などの取組が行われている。

c: 地域等との連携による事業や地域貢献活動への参加などの取組に関して一部改善を要するものがある。

d: 地域等との連携による事業や地域貢献活動への取組について、抜本的に改善が必要なものがある。

## <指定管理者における全体総括>

令和5年度は、組織の名称を調布市スポーツ協会に改め、これまで以上に加盟団体との連携を深め、多様なニーズに対応した活動計画を立案実行し、調布市のスポーツ振興に努めました。施設管理面では、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類に移行されたことにより、マスクの着用は個人の判断に委ねられ、更衣室等の人数制限、入場時の検温、施設備品等の拭取り消毒等は全て廃止しました。屋内プールについては、トップライトの更新、鉄骨物の塗装・補修が必要となり、令和5年度中は休止となりました。

防犯対策の面では、館内スタッフによる巡回や貴重品ロッカーの利用を促す案内を継続して行ったほか、過去に盗難が発生している各更衣室の巡回も継続しました。防火・防災管理面では、施設利用者が多い大会開催中に火災・地震などが発生した状況を想定し、避難誘導を中心とした火災総合訓練を実施しました。

各種プログラムやスポーツスクール、講習会などの実施事業については、スポーツ協会セブンプログラムを核に施設を効果的に活用し、健康づくりを目的としたプログラムを数多く実施しました。健康増進プログラムは、運動する機会が少ない方を対象に、無理なく日常的に参加できるプログラムです。ジュニアスポーツプログラムは、毎回多くの幼児や小学生が参加しました。スキルアッププログラムは、技術向上を目的として加盟団体を中心となり成人向けに開催しました。障害者プログラムは、通年開催の転倒予防のための体操教室、障害者スポーツ体験ではゴールボールを市内小学生が体験しました。また、(公社)東京都障害者スポーツ協会の「障害者のスポーツ施設利用促進アドバイザー」事業を活用した、障害当事者による施設検証として、車いす利用者、視覚障害者に実際に利用していただき、施設内の備品や導線などを確認いただいたほか、施設職員向けに実技研修も併せて実施しました。

緊急時の対応としては、定期的な訓練の実施などによりスタッフ全員の意識を高め、防犯対策との両輪で、火災・震災時などの緊急時対応のマニュアル整備を適時図って参りました。また、令和3年度に締結した災害時における調布市の対応への協力に関する基本協定書に基づき、災害時のボランティアセンター等設置に関わる準備を進めました。

職員の育成に関しては、現状の課題解決のための研修として、民間の派遣会社より講師を招き、「仕事の進め方研修・PDCAを強化する」を実施しました。その他、関係団体が開催する各種講習会等にも積極的に参加しました。